

令和7年4月11日



宮川用水土地改良区

農業用水の節水について(お願い)

宮川用水事業、特に通水業務につきましては、日頃よりご理解、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

このことについて、降雨不足により宮川の自流量が減少し、必要取水量の確保が困難な状況となっております。

そのため、4月11日より宮川ダムかんがい放流を実施しております。

このような状況ですので、以下のような取り組みを徹底していただき、節水にご協力下さいますようお願い致します。

なお、代掻き・植付け時期ですので、隔日通水の計画は予定しておりませんが、今後、まとまった降雨が見込めない場合は、この限りではありません。

○節水への取り組み

1) 掛け流しの防止

2) 用水路末端における無効放流の防止

3) 既存水源(地下水・ため池等)の最優先活用

各 位

宮川用水土地改良区 管理課

夏期かんがい期間について

宮川用水事業につきましては、日頃よりご理解、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

このことについて、異常渇水のリスク低減のため、平成24年より国営二期事業計画に基づき「夏期かんがい期間」を変更させて頂いたところですが、本年も引き続き下記のとおりとさせていただきますので、ご了知下さいますようお願い致します（※宮川ダム放流は、4月11日からでないとは放流できません）。

ご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。

記

○夏期かんがい期（4月1日から9月15日）

4月1日から4月10日までは通水準備期間

4月11日から9月15日までは通水期間（水稻栽培期間）

代掻きのための取水は、4月11日以降でお願いします。

○冬期かんがい期（9月16日から3月31日）

※主に畑作、ハウス栽培向けの通水です。

円滑な通水を行うため、通水期間の取り組み並びに節水について、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

●夏期かんがい期間（4月1日～9月15日）

4月1日から4月10日までは通水準備期間
4月11日から9月15日までは通水期間（水稻栽培期間）

水管理・徹底！

（みずみはんさく）

昔からの言葉『水見半作』

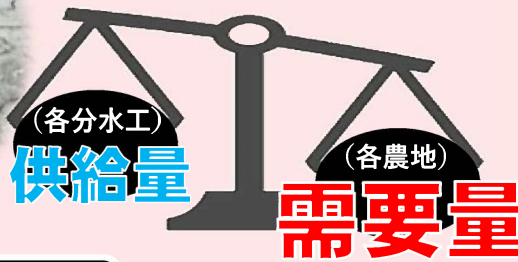


稲作の水管理の大切さは「水見半作」と言われ
水の管理は稲作の半分を占めるほど重要な作業

傾向

代掻期：代掻きの分散化により給水利用も分散
出穂期：掛け流しの増加により給水利用が集中

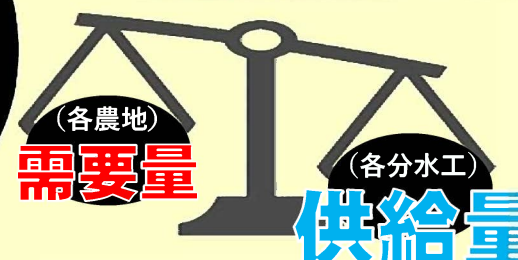
水が届かない原因



- 給水利用の集中
- 掛け流しの増加
- 水尻管理の悪化

我田引水から共存共栄へ

水を届ける方法



- 給水利用の分散
- 給水管理の徹底
- 水尻管理の徹底

栗生頭首工

（宮川から取水）

- 宮川から取水し一年間に使用できる水量が決まられています。
- 各分水工から配水（供給）する施設の機能（能力）には限界があります。
- 各農地（地域）で給水利用（需要）を分散することで宮川用水が行き渡ります。
- 水管理（給水・排水）の徹底により水資源の有効利用が図られます。

分水工

（農地へ配水）

代掻きのための取水は、4月11日以降でお願いします。